

〔2011.12.28更新〕

総務部長の遠藤 幹夫です。

東日本大震災、福島第一原発事故で、大きな痛手を受けた歴史的な2011年も、間もなく終わります。

震災後、すぐに市民の皆様からお寄せ頂きました様々な温かいご支援、ご協力にあらためて心より感謝とお礼を申し上げます。

この一年を振り返ってみますと、大震災それに伴った原発事故、そして、日本にとどまらず世界各地で起こった洪水や豪雨の被害など、自然の脅威を感じずにはいられない一年でした。それだけに家族や地域の「絆」が見直され、人と人との関わり大切さを実感した年でもありました。

さて、先月11月に「総務部長の仕事と目標の中間報告」を掲載いたしました。今後もさらに総務部職員一同一丸となって、目標達成に向けて努力して参りたいと考えております。市民の皆様のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

大震災に伴い公共施設における節電対策では、市民の皆様のご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。引き続き公共施設における設備等の省エネルギー化を推進し、環境負担の低減、並びに光熱水費の削減を図って参りますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

年末、年始を迎えるにあたり市民の皆様もお忙しくされていることと思えます。くれぐれもご健康にはご留意ください。

来る年が希望に満ちた年であることを願うばかりです。